

# 東和会いばらき病院の病床転換に関する意見とりまとめ

資料 8 (別紙)

1月17日の三島医療・病床懇話会終了後、委員への意見照会を行い、全委員から以下の通り回答があった。

	意見
賛同する 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療構想における大阪アプローチにおいて、急性期も回復期も不足であり、急性期への転換は問題がないのではないか。</li> <li>&lt;賛同するための条件：2名&gt;</li> <li>○茨木市では急性期を担う施設に不足があるため、将来的に高槻市への移転がないこと。コロナ患者を受け入れること。</li> </ul>
賛同しない 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域急性期は回復期機能であり、回復期への転換であれば問題はないが、急性期への転換であれば賛同できない。</li> <li>○三島二次医療圏においては、急性期病床は過剰であり、回復期と慢性期への転換のみ可能な状況である。地域急性期とした後、重症急性期に変更を考えているのであれば賛同できない。</li> <li>○茨木市からの移転についての説明が曖昧である。</li> <li>○コロナへの対応は、病床機能転換とは別の議論にすべきである。</li> </ul>
その他 9名 継続協議希望など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東和会からの現状説明では、方向性が明確ではないため、今回の転換に関しては様子を見るべき。圏域での賛同がなければ難しいと考える。</li> <li>○大阪アプローチと病床機能報告（参考資料2）の関係性が分かりにくく、問題の整理とめざす方向性の共有が必要である。過剰病床の転換等に関する認識に差異があるため整理が必要である。</li> <li>○これまで身を切る思いで慢性期に病床変更をしてきた。地域での議論は必要だが、この時期に、慢性期から急性期病床への転換は賛同できない。</li> <li>○将来、茨木市外への移転があるのかはっきりとした説明がない。また、仮に移転するのであれば、茨木市が誘致しようとしている病院の病床機能との関係も踏まえて議論する必要がある。</li> <li>○コロナ禍を踏まえた地域医療構想の検証がまだなされておらず、病床機能の転換の賛否は判断できない。</li> </ul>

# 東和会いばらき病院の病床転換に関する意見とりまとめ

資料 8 (別紙)

1月17日の三島医療・病床懇話会終了後、委員への意見照会を行い、全委員から以下の通り回答があった。

	意見
賛同する 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療構想における大阪アプローチにおいて、急性期も回復期も不足であり、急性期への転換は問題がないのではないか。</li> <li>&lt;賛同するための条件：2名&gt;</li> <li>○茨木市では急性期を担う施設に不足があるため、将来的に高槻市への移転がないこと。コロナ患者を受け入れること。</li> </ul>
賛同しない 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域急性期は回復期機能であり、回復期への転換であれば問題はないが、急性期への転換であれば賛同できない。</li> <li>○三島二次医療圏においては、急性期病床は過剰であり、回復期と慢性期への転換のみ可能な状況である。地域急性期とした後、重症急性期に変更を考えているのであれば賛同できない。</li> <li>○茨木市からの移転についての説明が曖昧である。</li> <li>○コロナへの対応は、病床機能転換とは別の議論にすべきである。</li> </ul>
その他 9名 継続協議希望など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東和会からの現状説明では、方向性が明確ではないため、今回の転換に関しては様子を見るべき。圏域での賛同がなければ難しいと考える。</li> <li>○大阪アプローチと病床機能報告（参考資料2）の関係性が分かりにくく、問題の整理とめざす方向性の共有が必要である。過剰病床の転換等に関する認識に差異があるため整理が必要である。</li> <li>○これまで身を切る思いで慢性期に病床変更をしてきた。地域での議論は必要だが、この時期に、慢性期から急性期病床への転換は賛同できない。</li> <li>○将来、茨木市外への移転があるのかはっきりとした説明がない。また、仮に移転するのであれば、茨木市が誘致しようとしている病院の病床機能との関係も踏まえて議論する必要がある。</li> <li>○コロナ禍を踏まえた地域医療構想の検証がまだなされておらず、病床機能の転換の賛否は判断できない。</li> </ul>

# 東和会いばらき病院の病床転換に関する意見とりまとめ

資料 8 (別紙)

1月17日の三島医療・病床懇話会終了後、委員への意見照会を行い、全委員から以下の通り回答があった。

	意見
賛同する 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療構想における大阪アプローチにおいて、急性期も回復期も不足であり、急性期への転換は問題がないのではないか。</li> <li>&lt;賛同するための条件：2名&gt;</li> <li>○茨木市では急性期を担う施設に不足があるため、将来的に高槻市への移転がないこと。コロナ患者を受け入れること。</li> </ul>
賛同しない 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域急性期は回復期機能であり、回復期への転換であれば問題はないが、急性期への転換であれば賛同できない。</li> <li>○三島二次医療圏においては、急性期病床は過剰であり、回復期と慢性期への転換のみ可能な状況である。地域急性期とした後、重症急性期に変更を考えているのであれば賛同できない。</li> <li>○茨木市からの移転についての説明が曖昧である。</li> <li>○コロナへの対応は、病床機能転換とは別の議論にすべきである。</li> </ul>
その他 9名 継続協議希望など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東和会からの現状説明では、方向性が明確ではないため、今回の転換に関しては様子を見るべき。圏域での賛同がなければ難しいと考える。</li> <li>○大阪アプローチと病床機能報告（参考資料2）の関係性が分かりにくく、問題の整理とめざす方向性の共有が必要である。過剰病床の転換等に関する認識に差異があるため整理が必要である。</li> <li>○これまで身を切る思いで慢性期に病床変更をしてきた。地域での議論は必要だが、この時期に、慢性期から急性期病床への転換は賛同できない。</li> <li>○将来、茨木市外への移転があるのかはっきりとした説明がない。また、仮に移転するのであれば、茨木市が誘致しようとしている病院の病床機能との関係も踏まえて議論する必要がある。</li> <li>○コロナ禍を踏まえた地域医療構想の検証がまだなされておらず、病床機能の転換の賛否は判断できない。</li> </ul>